

ステッキ手にした友も 久しぶりに 18 期同期会

18 期 三木次郎

新型コロナ感染の危険を避けて、しばらく休憩していた第18期同期会が11月22日(火)に母校ゆかりの地、十三の「がんこ十三総本店」で開かれ、前北辰会会長古城具祐さんの一声で21人が参加しました。

前回の同期会は2019年3月22日。以来、世話係数人が顔を合わせることはあっても、広く呼び掛けての同期会は棚上げ状態でした。この間、定会場になっていた十三東口近くのお馴染みの店がクローズ、会場を変えての開催となりました。

18期は「一番若い人」でも82歳。参加者の中にはステッキを手にした人も見かけましたが、みんな気持ちだけは昔のままで元気いっぱい、満面笑顔の再会でした。なかには開会時間直前に「会場がわからん」との問い合わせがあり、「今どこらへんまで来てるんや」と聞くと「それがわかったら苦労せん」——など落語のようなやり取りも。待ちかねた同期会は何とかほぼ定刻に始まりました。

最初に、北辰会会長を務める岡田多聞君の挨拶でスタート。いつもながら参加者一人ずつの「私のこの頃」の報告を兼ねた大演説が続き、「飲み放題」のピッチはさすが年寄りだけに緩やかなようでしたが・・・？

楽しい宴は、人生のごとくあっという間に終わり、恒例の校歌合唱。久しぶりに、夕べの星が瞬き、心を込めた同期生らの歌声にちょっぴり涙がにじんできたようです。この日の記念写真におさまった全員が次回も顔をあわせるのはいうまでもありません・・・。

世話人：岡田多聞、古城具祐、佐藤寅夫、三木次郎



18期同期会に参集された皆さん（前列左から3人目 古城さん、後列右から4人目 岡田会長、後列右から2人目 佐藤さん、後列左から6人目 三木さん）